

実例を交えながら日本語教育支援について講演する
マイ准教授＝東海市の日本福祉大東海キャンパスで



外国人への日本語教育とは？

東海市の日本福祉大東海キャンパスで21日、外国人に日本語を教
えている人などを対象に、学習支
援の在り方をともに考える「日本語教育サミット」が開かれた。協
定校のベトナム・ハノイ大学から

日福大で在り方発信するサミット

ベトナムの研究者 教材不足など指摘

日本語教育を専門とする研究者2
人が招かれ、講演した。

「在日ベトナム人の児童生徒への日本語教育支援（異文化の観点から）」をテーマに、日本語学部のディン・サオ・マイ准教授は、教育格差の縮小や多様なスキルを持つ労働者の確保、国際競争力強化、犯罪率の低下などの点から教育支援の必要性を強調。「在日ベトナム人は増加しているが、学校内の支援教室は少なく、教材も不足している」と指摘した。

また、来日した3家族の実例を挙げて、課題や成功例を紹介。教師の専門研修や補習教室の設置、個別学習計画の作成など学校でできることや、学習支援ボランティアや異文化交流イベントなど地域でできることを提案した。グエン・ソン・ラン・アイン副学部長による基調講演「ベトナムの日本語教育の現状とこれから」もあった。

(平木友見子)